

人口・世帯	()内は前月比／前年同月比
合計	=209,245人 (+146/+3,784)
男	=102,818人 (+61/+1,718)
女	=106,427人 (+85/+2,066)
世帯	=88,036世帯 (+48/+1,960)
予算	
一般会計	=833億1,226万4千円
特別・公営企業会計	=452億 461万4千円

特集:インクルーシブ教育を目指して

障害のある子にも
ない子にも

全ての子どもに 寄り添った教育を

流山市では、お互いを尊重し合う共生社会を実現するための「インクルーシブ教育」を推進しています。そして、その教育システム構築に欠かせないのは、障害のある子どもが積極的に社会へ参加するための特別支援教育です。

今号では、市が取り組む多様なニーズに対応した特別支援教育について紹介します。

☎教育研究企画室 ☎7150-8388



担任に加え、
学習サポート教員が授業をフォロー

言語通級指導教室では
成長に合わせ、個別に指導



教員が
ロジャーマイク®を首にかけ、
難聴児童の聞き取りをサポート



※ロジャーマイク:補聴援助マイク

特別支援学級では、
寄り添った授業を実施



パーテーションで区切り、
周りの目を気にせず
自分のペースで学習



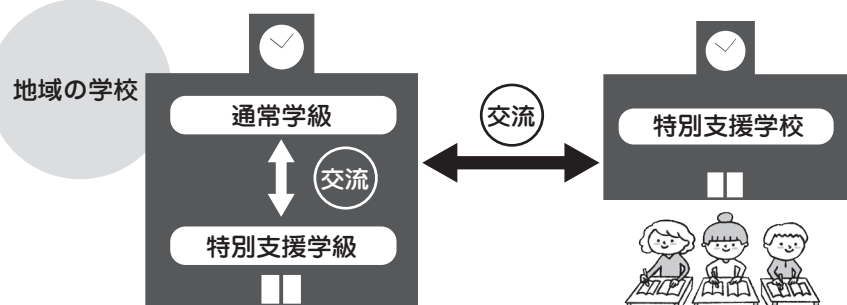
タブレット端末を活用した
学習指導



インクルーシブ教育って?

インクルーシブ教育とは、障害のある子もいない子も可能な限り共に学び、共に育つことを通じて、互いを理解し、人間の多様性を尊重し合う共生社会の実現を目指す教育のことです。

市では、特別支援学校に通う児童・生徒は地域の学校と、特別支援学級に在籍する児童・生徒は通常学級と交流を図りながら学習を進めています。



井崎市長からのメッセージ

多様な教育的ニーズに対応し、 互いの違いを尊重する教育の推進

市では、特別な支援を必要とする児童・生徒が年々増加し、それに対応するため、市内に特別支援学級や通級指導教室を増設してきました。また、市独自にスクールカウンセラー、学習サポート教員、介添員、スクールソーシャルワーカー、サポート看護師など、専門の職員を288人配置し、今後も増員を図りながら子どもたちの教育を支えていきます。

特別な支援を要する子どもに限らず、多様な特性を持つ子どもへの配慮に取り組み、全ての子どもが、互いの違いを尊重する「インクルーシブ教育」を目指してまいります。



流山市長
井崎 義治

一人ひとりのニーズに応じた教育環境を提供

就学前

次年度、小・中学校に入学するお子さんと、特別支援学級や通級指導教室、特別支援学校をお考えの保護者を対象に、就学相談や学校見学などを行い、お子さん一人ひとりの成長に応じた学びの場を提案します。なお、小・中学校に在籍する児童・生徒については、お通いの学校にご相談ください。

☎教育研究企画室 ☎7150-8388

① 就学説明会・就学相談 (4月～5月)

特別支援の概要や入学までの流れを説明します。また、説明会に参加された方には、個別の就学相談を案内します。どのような教育環境や教育内容が必要か一緒に考えます。



② 学級・学校見学体験 (7月～10月)

※夏休み期間中は除く

学校の教育活動を実際に見たり体験したりすることで、就学先について理解を深めることができます。お子さん自身も、就学をした際の学校の雰囲気や事前に感じていただけます。



③ 教育委員会答申 (随時)

医師や児童福祉施設職員など知見を有する教育支援委員が、検査や観察、現在利用されている医療機関や支援施設などからの資料を参考に話し合い、具体的な支援や就学先を決定します。



④ 就学先の決定 (随時)

教育委員会答申をもとに、最終的な就学先・支援方法を本人・保護者と一緒に決定します。また、就学後もお子さんの発達や適応状況などを勘案しながら柔軟に学び方を見直していきます。



※①、②の日程は今後の広報ながasakiでお知らせします。

児童・生徒に合わせた多様な学び場

特別支援学級

支援の区分(知的・情緒・言語・難聴)ごとの少人数学級で、生活や学習上の困難を改善または克服するため、一人ひとりに応じた教育を行います。児童・生徒の様子に応じて、通常学級での交流学習にも取り組みます。

- 知的特別支援学級… 全小・中学校(27校)
- 情緒特別支援学級… 全小学校(17校)、中学校(南部中、常盤松中、東部中、東深井中、南流山中、八木中、おおぐろの森中)

- 言語特別支援学級… 八木北小
- 難聴特別支援学級… おおたかの森小

※令和4年度現在

通級指導教室

通常学級に在籍している小学生が対象で、週1回程度、通級指導教室設置校で言語や難聴に関する指導を受けます。

- 言語通級指導教室… 流山小、江戸川台小、東深井小、小山小、南流山小、おおたかの森小

- 難聴通級指導教室… おおたかの森小

※令和4年度現在

特別支援学校

障害のある幼児・児童・生徒に対して、学習上または生活上の困難を克服し、自立を図るために必要な知識・技能を専門的に指導をします。詳細は千葉県ホームページをご覧ください。



個別の教育支援計画・個別の指導計画を活用

特別な支援を必要とする児童・生徒一人ひとりにきめ細かな指導が行えるよう、指導目標や指導内容などを具体的に表した個別の支援計画・指導計画を立てています。

支援計画・指導計画は保護者と担任が協力して、定期的に見直しをしながら、適切な指導や必要な支援につなげていきます。



小・中学校に入学後

特別支援コーディネーターが円滑に情報共有

特別支援コーディネーターは、児童・生徒に関する情報を円滑に共有できるよう、教員間の連絡調整や校内における会議・研修の企画運営を行っています。また、保護者からの相談窓口となったり、校内支援体制をコーディネートする役目を担ったりします。



特別支援コーディネーター
加藤 理恵さん

特別支援学級の児童・生徒の学習を介添員が補助

介添員は、特別な支援が必要な児童・生徒の学校生活をフォローしたり、通常学級での授業の際に後ろから見守りを行ったりするなど、児童・生徒が安心して学習ができるよう補助をしています。



介添員
荒井 直子さん

難聴児童の学習を支援

難聴児童を対象に、個別またはグループで言語指導を行っています。また、通常学級で授業を受ける際に、児童と一緒にクラスに入り、要約筆記やささやきなどを行い、先生や友達の発言を伝え、児童の学習や支援にあたっています。



難聴特別支援学級担当教諭
長谷川 詩さん

特別な支援を必要とする児童・生徒だけでなく、広く児童・生徒をフォロー

学習サポート教員・指導員は、特別な支援を必要とする児童・生徒だけでなく、広く児童・生徒の指導を行います。学級担任や教科担任と連携し、通常学級の授業に入り、児童・生徒の学習サポートを行っています。



学習サポート教員
安藤 めぐみさん

高等学校、特別支援学校(高等部)、高等専修学校など、一人ひとりに合った進路へ

インタビュー

子どもに合った教育を保護者と一緒に考えてみる

流山小学校教頭 副見 英子さん

流山市では、全ての子どもが自己肯定感を持ち、自分を大切にする気持ちや自信を持って学校生活が送れるよう、さまざまな教育支援を行っています。近年、少子化、核家族化、情報化、国際化など、社会環境が急激に変化しているため、保護者とお子さんの価値観が、以前と比べ多様化しているように感じています。そのため、お子さんの成長を最大限に引き出すためには、保護者から家庭での様子をお聞きし、学校と一緒に、お子さんのことを考えていくことが大切です。

学校には、担任の教員をはじめ、さまざまな専門職員がいます。教職員は、家庭での学習や生活状況などを聞き、どのように学校で支援するのか、家庭ではどのようなことを願っているのかを整理し、専門職員とも連携しながら子どもの将来の自立と社会参加に向けて、見通した計画を立てていきます。子どもの成長や学校生活で困りごとや心配なことがありましたら、お気軽にお通いの学校にご相談ください。



育ちや教育に関する相談

市では、病気や発育、学習や生活状況に応じて、専門職員がさまざまな相談を受け付けています。お子さんの持つ可能性を最大限に伸ばすた

めには、将来を見通した早期からの相談・支援が重要です。困りごとや心配なことなどがありましたら、各相談窓口へお気軽にご連絡ください。

①就学相談

特別支援学校や特別支援学級、通級指導教室をお考えの保護者を対象に、相談を受け付けています。年長(5歳児)については、4月～5月に開催する就学説明会後に順次相談を開始します。現在、小・中学校の児童・生徒については、お通いの学校にご相談ください。

▷受付時間＝平日9時～16時30分※第3水曜除く

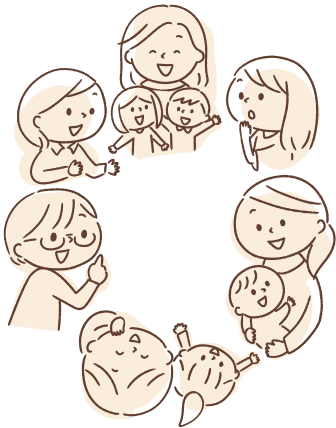
☎教育研究企画室 ☎7150－8388

②教育相談

小・中学生が抱える不登校や友人関係、学習に関わる困りごとなど、学校生活上の悩みについて、心理士がカウンセリングを行っています。お通いの小・中学校とも連携しながら、一緒に解決を図っていきます。

▷受付時間＝平日9時～16時30分※第3水曜を除く

☎教育研究企画室 ☎7150－8390



③乳幼児の育児相談

乳幼児の発育・発達について、乳児家庭全戸訪問や1歳6カ月児健診、3歳児健診などで相談を受けています。また、保健師などの専門職員が電話や訪問により、お子さんの心配ごとについてお話を伺い、お子さんの様子を保護者と一緒に確認しています。

▷受付時間＝平日8時30分～17時15分

☎保健センター ☎7154－0331

④幼児教育相談

3歳～5歳児の保護者を対象に、保育所(園)・幼稚園・認定こども園などでの生活についての悩みや、就学に向けての心配ごとなど、専門の相談員やカウンセラーに相談することができます。

▷受付時間＝月・水・木曜9時～14時

☎幼児教育支援センター ☎7154－8781

⑤発達相談

療育相談室では、0歳から年長(5歳児)までの乳幼児を対象に、心理士、言語聴覚士、作業療法士、相談員など専門スタッフが発達を全体的に確認し、お子さんにとって必要なサポートの方法を考えていきます。まずは電話でご相談ください。

▷受付時間＝平日9時～17時

☎療育相談室 ☎7154－4844

誰一人取り残さない社会を目指して SDGs関連パネル・ポスター展を開催

持続可能な開発目標である「SDGs」に掲げられた17のゴールのうち、「ジェンダー平等を実現しよう」「人や国の不平等をなくそう」「平和と公正をすべての人に」を主とする取り組みとして、「SDGs関連パネル・ポスター展」を開催します。

誰一人取り残さない社会を実現するため、一人ひとりができることについて考えてみませんか。

☎企画政策課 ☎7150－6064

SDGsパネル展

SDGsの目標やその課題について分かりやすく紹介します。SDGsを身近な問題として捉え、私たちにできることは何か考えてみませんか。

☎/☎ 2月20日(月)～3月7日(火)／東部公民館、3月8日(水)～22日(水)／森の図書館

ID 1032478



やさしい日本語ポスター展

多くの外国人とコミュニケーションをとることができる「やさしい日本語」について紹介します。「やさしい日本語」は、高齢者や障害のある人など、多くの人に分かりやすく伝えようとするものです。

☎/☎ 2月20日(月)～3月7日(火)／東部公民館、3月8日(水)～22日(水)／森の図書館 ID 1039052



男女共同参画啓発パネル展「性の多様性ってどういうこと？」

性別にとらわれず多様な性のあり方を受け入れて、誰もが自分らしく暮らせる社会にするため、性の多様性について一緒に考えてみませんか。

☎/☎ 2月20日(月)～3月7日(火)／おおたかの森センター、3月8日(水)～22日(水)／南流山センター

ID 1040039



平和ポスター展

太平洋戦争における国内唯一の地上戦である沖縄戦の被害と平和の尊さを伝えるため、沖縄県平和祈念資料館からお借りした貴重なパネル資料を展示します。改めて平和の大切さについて考えてみませんか。

☎/☎ 2月20日(月)～3月7日(火)／おおたかの森センター、3月8日(水)～22日(水)／南流山センター ID 1007107



SDGsとは？

日本語で「持続可能な開発目標」

SDGsは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称。これは、2015年9月の国連サミットで採択された「将来にわたってよりよい未来・世界をつくる」ための国際目標(ゴール)です。

持続可能な Sustainable	私たちや次の世代のニーズを満たしこの世界で暮らし続けるために、経済、社会、環境が調和を図ることが求められています。
開発 Development	日本では、貧困・格差の撲滅、環境破壊防止など、先進国にも関係する多くの開発支援に関する課題を含んでいます。
目標 Goals	2030年までに達成しなければならぬ17の目標のことをいいます。その目標は互いに関連しています。1つの目標に取り組むことが総合的な取り組みにつながります。

2030年までに達成すべき17のゴール

世界では貧困や気候変動、紛争など数多くの課題に直面しており、日本も少子高齢化、人口減少、自然災害などさまざまな課題を抱えています。そこで、地球温暖化や貧困問題を解決し、将来の世代が安心して暮らすことのできる持続可能な世界を目指して、2030年までに達成すべき、17の目標(ゴール)が定められています。

